

平成25年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月14日

上場取引所 大

上場会社名 総合商研株式会社

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部課長

(氏名) 太田 健一

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日

配当支払開始予定日

平成25年4月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第2四半期の連結業績(平成24年8月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第2四半期	10,199	14.8	573	3.1	599	7.3	357	18.4
24年7月期第2四半期	8,881	18.5	556	47.4	558	45.4	301	44.0

(注)包括利益 25年7月期第2四半期 422百万円 (29.2%) 24年7月期第2四半期 326百万円 (40.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第2四半期	120.89	—
24年7月期第2四半期	101.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年7月期第2四半期	10,561		2,067		19.5	
24年7月期	6,943		1,668		24.0	

(参考)自己資本 25年7月期第2四半期 2,063百万円 24年7月期 1,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	7.00	—	8.00	15.00	
25年7月期	—	7.00	—	—	—	
25年7月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	9.1	250	85.3	250	56.5	150	253.5	50.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期2Q	3,060,110 株	24年7月期	3,060,110 株
25年7月期2Q	104,521 株	24年7月期	104,373 株
25年7月期2Q	2,955,725 株	24年7月期2Q	2,975,582 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、領土問題による日中間の緊張の高まりにより、一時的な経済的混乱に見舞われましたが、政権交代後、新政権が提示した積極的な金融緩和策を受け、円安株高が大きく進行し、景気回復への期待が膨らんでおります。一方で円安によるエネルギーコストの上昇や消費税増税等、企業にとっての利益圧迫要因は引き続き存在し、経営は予断を許さない状況にあります。

当社グループが位置する印刷業界におきましては、企業の広告宣伝需要は徐々に回復してきたものの、デジタル化の波に合わせ、宣伝手法が紙媒体から電子媒体へ移行し始めております。消費者の動向を的確に捉え、新しい提案により広告需要を取り込む活動が必要な状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、チラシにとどまらない多様な販促手法の提案による受注拡大を目指すとともに、年賀状印刷受注増加に対応すべく事業の運営に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,199百万円（前年同四半期比1,318百万円増）となりました。

利益につきましても、年賀状の販売が好調に推移した結果、営業利益は573百万円（前年同四半期比17百万円増）、経常利益は599百万円（前年同四半期比40百万円増）、四半期純利益につきましても357百万円（前年同四半期比55百万円増）と、それぞれ増益となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期・第4四半期は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規営業の強化や、既存クライアントとの取引拡大の推進を行った結果、当事業の売上高は5,344百万円（前年同四半期比231百万円増）となりました。

また、利益につきましても、外注費削減を中心に損益管理を徹底したことにより、営業損失は102百万円（前年同四半期の営業損失は173百万円）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、パック年賀状の取扱件数が496万パックと前年同四半期比295万パックの大幅増加となり、名入れ年賀状の取扱件数につきましても、日本郵便株式会社の受注が伸び、前年同四半期比6万件増加の133万件となったことから、当事業の売上高は4,831百万円（前年同四半期比1,085百万円増）と、増収となりました。

利益につきましても、営業利益は844百万円（前年同四半期比21百万円減）となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行った結果、売上高は24百万円（前年同四半期比1百万円増）、営業損失は4百万円（前年同四半期の営業損失は5百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,617百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,376百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が1,629百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は8,494百万円となり前連結会計年度末に比べ3,219百万円増加しました。これは主に年賀状印刷事業の仕入に伴う支払手形及び買掛金が2,200百万円増加したこと、長期借入金が425百万円増加したこと、未払法人税等が162百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は2,067百万円となり前連結会計年度末に比べ398百万円増加しました。これは主に利益剰余金が333百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,376百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,491百万円(前年同四半期は28百万円の収入)となりました。これは主に売上債権の増加が1,630百万円、たな卸資産の増加が45百万円あったこと等により資金が減少したのに対して、仕入債務の増加が2,200百万円、税金等調整前四半期純利益が591百万円、減価償却費が198百万円あったこと等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は333百万円(前年同四半期は267百万円の支出)となりました。これは主に有形・無形固定資産の取得による支出が351百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は217百万円(前年同四半期は917百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の純減額が300百万円、長期借入金の返済による支出が370百万円あったこと等により資金が減少したのに対して、長期借入れによる収入が940百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の業績予想につきましては、平成24年9月10日付「平成24年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,185,377	2,561,983
受取手形及び売掛金	1,419,440	3,049,042
有価証券	21,976	—
商品及び製品	5,384	5,073
仕掛品	26,262	1,755
原材料及び貯蔵品	464,733	534,819
その他	106,180	465,660
貸倒引当金	△25,280	△9,708
流動資産合計	3,204,076	6,608,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	720,236	720,208
土地	972,492	1,011,877
その他(純額)	1,031,525	1,065,213
有形固定資産合計	2,724,255	2,797,299
無形固定資産		
その他	144,566	181,071
無形固定資産合計	144,566	181,071
投資その他の資産		
投資有価証券	506,027	599,841
関係会社株式	18,144	18,928
その他	374,347	384,376
貸倒引当金	△27,964	△28,801
投資その他の資産合計	870,555	974,344
固定資産合計	3,739,376	3,952,715
資産合計	6,943,453	10,561,342
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,255,116	3,455,952
短期借入金	1,011,172	855,532
未払法人税等	99,775	261,862
賞与引当金	10,922	11,131
その他	416,858	983,209
流動負債合計	2,793,843	5,567,687
固定負債		
長期借入金	1,875,763	2,300,817
資産除去債務	7,597	7,677
その他	598,070	618,134
固定負債合計	2,481,431	2,926,628
負債合計	5,275,275	8,494,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	441,153	441,153
利益剰余金	733,283	1,066,941
自己株式	△29,127	△29,184
株主資本合計	1,557,229	1,890,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,775	172,649
その他の包括利益累計額合計	107,775	172,649
少数株主持分	3,173	3,545
純資産合計	1,668,177	2,067,025
負債純資産合計	6,943,453	10,561,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)
売上高	8,881,404	10,199,693
売上原価	5,977,157	7,178,699
売上総利益	2,904,247	3,020,994
販売費及び一般管理費		
運賃	569,242	609,794
給料及び手当	747,233	756,226
賞与引当金繰入額	8,812	9,111
その他	1,022,506	1,071,895
販売費及び一般管理費合計	2,347,795	2,447,027
営業利益	556,451	573,967
営業外収益		
受取利息	22	39
受取配当金	3,539	3,596
受取手数料	14,354	17,408
受取賃貸料	15,805	6,982
作業くず売却益	9,015	9,200
貸倒引当金戻入額	1,205	14,734
持分法による投資利益	—	784
その他	2,896	5,235
営業外収益合計	46,840	57,981
営業外費用		
支払利息	31,965	32,930
持分法による投資損失	108	—
為替差損	12,634	—
その他	144	—
営業外費用合計	44,853	32,930
経常利益	558,438	599,017
特別損失		
固定資産除却損	16,876	851
投資有価証券評価損	4,187	6,987
特別損失合計	21,064	7,839
税金等調整前四半期純利益	537,374	591,178
法人税、住民税及び事業税	249,995	254,780
法人税等調整額	△9,069	△21,279
法人税等合計	240,925	233,501
少数株主損益調整前四半期純利益	296,448	357,676
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,438	372
四半期純利益	301,886	357,304

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	296,448	357,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,528	64,874
その他の包括利益合計	30,528	64,874
四半期包括利益	326,976	422,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,415	422,178
少数株主に係る四半期包括利益	△5,438	372

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	537,374	591,178
減価償却費	165,889	198,336
のれん償却額	9	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,205	△14,734
賞与引当金の増減額(△は減少)	395	208
受取利息及び受取配当金	△3,562	△3,636
投資有価証券評価損益(△は益)	4,187	6,987
固定資産除却損	16,876	851
支払利息	31,965	32,930
為替差損益(△は益)	12,634	△1,552
持分法による投資損益(△は益)	108	△784
売上債権の増減額(△は増加)	△485,644	△1,630,391
たな卸資産の増減額(△は増加)	△123,410	△45,267
仕入債務の増減額(△は減少)	297,333	2,200,836
未払消費税等の増減額(△は減少)	64,175	103,236
その他	△451,526	184,021
小計	65,600	1,622,223
利息及び配当金の受取額	3,562	3,636
利息の支払額	△32,720	△32,822
法人税等の支払額	△8,091	△101,071
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,351	1,491,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△255,745	△0
有価証券の売却による収入	211,743	22,550
有形固定資産の取得による支出	△170,048	△292,752
有形固定資産の除却による支出	—	△25
投資有価証券の取得による支出	△3,826	△3,928
貸付けによる支出	—	△240
貸付金の回収による収入	—	405
無形固定資産の取得による支出	△18,799	△59,206
差入保証金の差入による支出	△32,201	△1,135
差入保証金の回収による収入	12,952	—
子会社株式の取得による支出	△1,257	—
その他	△10,013	916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,196	△333,416

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,400,000	△300,000
長期借入れによる収入	—	940,000
長期借入金の返済による支出	△431,252	△370,586
リース債務の返済による支出	△20,960	△28,084
配当金の支払額	△23,665	△23,282
その他	△6,766	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	917,354	217,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	67
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	678,500	1,376,606
現金及び現金同等物の期首残高	1,632,305	1,185,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,310,806	2,561,983

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,112,860	3,745,371	8,858,231	23,172	8,881,404	—	8,881,404
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,594	3,371	15,965	1,959	17,924	△17,924	—
計	5,125,454	3,748,742	8,874,197	25,131	8,899,329	△17,924	8,881,404
セグメント利益 又は損失(△)	△173,355	866,023	692,668	△5,084	687,584	△131,132	556,451

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△131,132千円には、セグメント間取引消去2,965千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,097千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,344,021	4,831,296	10,175,317	24,376	10,199,693	—	10,199,693
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,274	3,106	11,380	2,060	13,441	△13,441	—
計	5,352,295	4,834,402	10,186,698	26,436	10,213,134	△13,441	10,199,693
セグメント利益 又は損失(△)	△102,930	844,668	741,737	△4,018	737,719	△163,752	573,967

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,752千円には、セグメント間取引消去2,783千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,535千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)

該当事項はありません。